

## 令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第1学年 「国語（光村図書）」

98時間（70%）

週	重点に置く指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	伝イ（ア） Cア  Aウ Bウ	言葉に出会うために	野原はうたう	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての詩を読んだ後、気に入った詩を自分なりに朗読させる</li> <li>・国語科の学習のオリエンテーションとして、それぞれの項目のポイントを指導する</li> </ul>
			声を届ける／書き留める／調べる／ 続けてみよう	3	
2	Cアウ  Aエ Bアイ	1 学びをひらく	花曇りの向こう	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る方法を指導する</li> <li>・情報収集の手段としてマッピングを例に挙げ、説明する事柄について視点を立てて情報を集めることを中心の活動とする</li> <li>・人からの話を聞く機会が多いことを確認し、練習を通して聞き方について指導する</li> <li>・練習問題は家庭での課題とし、後日確認する</li> </ul>
わかりやすく説明しよう 視点を立てて書く			5		
練習 情報を的確に聞き取る			1		
3	伝ウ（アイ）		漢字1 漢字の組み立てと部首	1	
4	Cイエ  Cアオ	2 新しい視点へ	ダイコンは大きな根？	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落の役割をおさえながら内容を捉え、筆者の説明の仕方について考えることを中心の活動とする</li> <li>・段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、日常生活で筆者の考えが生かせる場面を考えさせる</li> </ul>
ちょっと立ち止まって			4		
5	Aイウ		練習 記録のしかたを工夫する	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>→次の小単元の導入に使用する</li> <li>・身近なテーマを提示し、簡単なスピーチをすることを通して、相手に分かりやすく伝えるスピーチのポイントを考えることを中心の活動とする（状況によっては時期を入れ替える）</li> </ul>
「好きなもの」を紹介しよう スピーチをする					
6	Cカ  伝イ2年		情報の集め方を知ろう／情報コラム	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見出しを中心に、情報の集め方に絞って指導する</li> <li>・両者の違いをおさえ、「書くことに生かす」は家庭での課題とし、後日確認する</li> </ul>
			言葉1 話し言葉と書き言葉	1	
7	Cア  Bア 伝イ（ウ） Cエ  伝イ2年	3 言葉をつなぐ	詩の世界	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の朗読を通して、それぞれの詩に描かれた情景を想像させることを中心に指導する</li> <li>・二つの教材文を比較させ、言葉の持つ力について考えさせる。</li> <li>・240ページを基に、文法とは何かをおさえたと上で、言葉の単位を指導する（→参考：県教委オンラインサポート授業）</li> <li>・欄外の問題は家庭での課題とし、後日確認する</li> </ul>
			言葉を集めよう もっと「伝わる」表現をみざして 空を見上げて	2	
			文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう→文法① 言葉の単位（P240-243）	1	
8	Cオカ	読書生活を豊かに	光る地平線	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「光る地平線」は一読して印象に残った表現を交流させる</li> <li>・今まで読んできた本の中からおすすめの本を紹介をさせる</li> <li>・読書コラムを読み、感じたことをノート等に書かせて提出させ、後日確認する（→参考：県教委オンラインサポート授業）</li> </ul>
			私が選んだこの一冊		
			読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い		
8	書写		楷書	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楷書の筆遣い、字形、文字の大きさ、配列の指導を中心に指導する</li> </ul>
9	Cウエ  Cウオ	4 つながりの中で	星の花が降るころに	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の変化や表現の特徴に着目して、登場人物の変化を読み取ることを中心の活動とする</li> <li>・登場人物の言動や情景描写に着目して内容を捉え、作品が描かれた時代について考えることを中心の活動とする</li> </ul>
			大人になれなかった弟たちに……	3	
10	Bエ  Cイエ		練習 わかりやすい案内文を書く	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな通信文の特徴をおさえる</li> <li>・事実と意見、図表の役割を中心に指導する</li> </ul>
			シカの「落ち穂拾い」 ——フィールドノートの記録から	3	
11	Bイ  伝イ（イ） 伝ウ（ア）		調べたことを報告しよう レポートにまとめる	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の例を参考に、集めた材料を整理する方法、レポートの基本的な構成について指導する</li> <li>・それぞれのポイントを説明し、練習問題は家庭での課題とし、後日確認する</li> </ul>
			漢字2 漢字の音訓 言葉2 指示する語句と接続する語句	1	
	書写		行書①	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行書とは何かをおさえ、丸み、点画の連続を中心に指導する（毛筆）（→参考「県教委オンラインサポート授業」）</li> </ul>
12	伝ア（ア）  Cオ  Cアエ 伝ア（アイ）	5 いにしえの心に触れる	音読を楽しもう いは歌	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読することを中心の活動とする</li> <li>・さまざまな古典の作品と自分とのつながりについて考えさせる</li> <li>・157ページ「古典の言葉」を使って仮名遣いを確認し、朗読することを中心の活動とする</li> <li>・故事成語は生活の中に生き続けていることをおさえ、漢文独特の言い回しに読み慣れる</li> <li>・「書く」はいくつかの故事成語を提示し、自分の体験と結びつけた短文を書かせる</li> </ul>
			月に思う	1	
			蓬萊の玉の枝——「竹取物語」から	4	
13	Bウ Cア 伝ア（アイ）		今に生きる言葉 「書く」故事成語を使って体験文を書こう	3	

14	書写		行書②	2	・点画の方向や形の変化を中心に指導する
	Cイオ	6 論理を捉えて	幻の魚は生きていた [書く] 根拠を明確にして書こう	4	・文章の要旨を捉えた後、人間や環境について自分なりの考えをもたせる ・[書く] はまとめの活動として取り扱う
15	Aアオ		練習 流れを踏まえて話し合う		→次の小単元の導入に使用する
			話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	4	・日常生活から身近なテーマを選択させ、グループ・ディスカッションを行い、話し合いの話題や方向を的確に捉えることを重点に置いて指導する
16	Bウエ		練習 感じたことを整理する		→次の小単元の導入に使用する
			根拠を明確にして魅力を伝えよう 鑑賞文を書く	4	・美術の教科書や学校図書館にある本から作品を選ばせ、特徴(根拠)を明確にして書かせる
17	Cオ		竹	1	・リズムを楽しませながら朗読させ、感想を交流させる(→参考: 県教委オンラインサポート授業)
	伝イ(2年)		文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法② 文の組み立て(P244-248)	1	・244ページ以降の解説を基に、文節どうしの関係にはいくつかの種類があることを指導する ・欄外の問題を家庭での課題とし、後日確認する
	Cオカ	読書に親しむ	桜守三代	1	・教材文を読み、例えば、三代の桜守の活動の中で特に興味をもったものに絞って交流させる。
			読書案内 本の世界を広げよう	家庭	・県教委オンライン授業で補う(学校図書館の活用)
18	Cウエオ 伝イ(イウ)	7 自分を見つめて	少年の日の思い出 [書く] 別の人物の視点で書こう	5	・語り手に着目して読ませ、登場人物の考え方や表現の特徴について、自分の考えをもたせることを中心に指導する
19	伝イ(オ)		言葉3 さまざまな表現技法	1	・表現技法の効果とそれぞれの特徴について指導する
	伝ウ(ア)		漢字3 漢字の成り立ち	1	・練習問題は家庭での課題とし、後日確認する
	Bアエ		印象深く思いを伝えよう 新入生へメッセージを書く	4	・新入生に向けて書くことをおさえ、文章を読み返し、わかりやすく印象深いものになっているか推敲することを中心の活動とする。
20	伝イ(エ)		文法への扉3 単語の性質を見つけよう →文法③ 単語の分類(P249-252)	1	・249ページ以降の解説を基に、単語が性質の違いによって分類されることを指導する ・欄外の問題を家庭での課題とし、後日確認する
	Aアイ Bウオ		一年間の学びを振り返ろう ポスターセッションをする(※)	4	・聞き手の反応に注意しながら話すことを中心に指導する ・振り返りの活動として、他の発表のよさを自分の表現の参考にする交流を行う
21			ぼくが ここに	2	・作者の思いを想像しながら朗読し、交流する
	書写		一年間の学びのまとめ	2	・(※)と関連させる(ポスターを作成する際の見出し等)とよい

## 【時間数の精選方法(例)】

### ○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・各領域ともに、複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力(指導事項)を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、単元1「花曇りの向こう」では、指導事項ウの「場面の展開や登場人物の描写」を中心に指導し、単元5「大人になれなかった弟たちに……」では、指導事項オ「文章に表れているものの考え方をとらえ、自分のものの考え方を広げる」ために、互いの意見を交流させる指導を行います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」も同様の考え方で。

### ○小単元をまとめて指導したり、家庭での課題にして補ったりする

・「漢字」「言葉」「文法の扉」については、まず、指導内容が既習事項なのか、新しい内容なのかを確かめます。新しい内容の場合、あわせて指導できる内容があるかを考えます。練習問題については、教科書巻末の問題やワーク等を家庭の課題とすることで、授業時間の削減が可能となります。なお、家庭での課題とする場合、生徒の達成状況を把握し、個への支援が必要なこともあります。

### ○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が「読むこと」カ(※) になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。また、「読書案内」「読書コラム」では、学校図書館を活用し、家庭での読書を促し、幅広い読書をさせることが可能となります。

### ○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導については、中学1年生では、20単位時間程度行うものとあります。光村図書では、ポスターを作成したり鑑賞文を書いたりする「書くこと」の領域の学習において、例えば、ポスターの見出しの書き方や原稿用紙の書き方を通して、文字の大きさや配置・配列といった指導事項をおさえることが可能です。(本資料では、書写に取り立てた指導を10時間(50%)で作成しています。)

### ○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や生徒の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。

※本資料は、中学校学習指導要領(平成20年9月)によって作成しています。